

安芸国^{さえき}佐伯郡^{くじま}玖島村^{しもだ} 下田家文書 仮目録

広島県立文書館

令和6年（2024）3月

凡 例

- 1 本目録には、安芸国佐伯郡玖島村 下田家文書を掲載した。
- 2 目録の各項目は次のとおり。

請求記号 本文書群の群番号は（200409）と、この項目の記号を組み合わせたものが請求記号になる。

【例】 1 → 200409/1

表 題 資料に原表題のあるものはそのまま採った。
年 代 資料に記された作成年月日を採用した。
作 成 資料の作成者又は写本の作成者を記した。
形 態 資料の形態を記した。
数 量 資料の点数を記した。
備 考 留意すべき点があれば適宜記した。

- 3 文書の配列は請求記号順とした。
- 4 利用の参考のため、本文書群の概要を冒頭に記した。

【文書群概要】

安芸国^{さえき}佐伯郡^{くじま}玖島村^{しもだ} 下田家文書（請求記号 200409）

文政 11 年（1828）に越後で発生した三条地震を題材とする瞽女（ごぜ）の口説き歌。

出 所 下田家

旧支配 広島藩領（蔵入地）

出所地名 安芸国佐伯郡玖島村／広島県廿日市市玖島〔現在地名〕

役職等 玖島村会議員、玖島村長など

分量 1 点（1 冊）

収蔵までの経緯 平成 16 年（2004）10 月 23 日に「新潟県中越地震」が発生し、神石高原町の民家から「越後地震盲女口説」が見つかったという中国新聞の記事（11 月 12 日付け）を読み、気にとまったので保存し、水を吸い取り、乾燥させ何とかめくれるようにして、11 月 15 日に寄贈した。

年 代 慶応 2 年（1866）3 月

歴 史 下田家は江戸時代から玖島村の地主で、下田亀太郎は明治 37 年（1904）3 月から玖島村会議員、大正元年（1912）10 月 23 日から同 3 年 11 月 8 日まで玖島村長を務めた。下田栄（亀太郎の実弟で、その養子）は、同村収入役（大正 9 年 5 月 20 日～同 13 年 1 月 29 日）、村会議員（大正 14 年 3 月～）を務めた。昭和 37 年ごろに廿日市町へ移転し、古文書は旧宅の物置で保管していたが、平成 16 年の台風などで濡れ、一部を除いて廃棄した。寄贈資料はそのうちの 1 点である。

内 容 「於越後国大地震くとき聴（ちょう）」。文政 11 年（1828）11 月 12 日に、新潟県中部でマグニチュード 6.9 の「越後三条地震」（文政三条地震）が発生し、信濃川に沿った三条・燕・見附・今町・与板などが被災し、家屋がほとんど全壊した。この地震が発生した時の状況や被災した人々の混乱ぶり、各藩の救済活動などを歌った瞽女（ごぜ）の口説（くどき）歌で、慶応 2 年（1866）3 月上旬の写本である。

参考資料 同種の「口説帳」は多く出回り、当館には下田家文書の他「越後国ちしんくと記」（三上家文書、198811-1506-1）、「越後地しんくどき」（福原家文書、199201-1740）がある。

検索手段 「広島県立文書館収蔵文書仮目録」

（2023.9.22 記述／西村 晃）

200409/1

於越後国大地震くとき聴

慶応 2. 3. 上旬写

芸陽玖波住甘薫堂正道

縦冊・1冊

全体的に水濡れの痕跡あり
